

高等学校部会全体研究協議会資料

日時 令和3年10月28日(木) 10:40～
ZoomによるWeb会議

1 開会のことば

2 部会長挨拶

3 議事

- (1) 令和3年度北数教組織図(高等学校関係分)について
- (2) 令和2年度北数教高等学校部会事業報告並びに決算報告・監査報告について
- (3) 令和3年度北数教高等学校部会活動方針・研究主題・事業計画(案)並びに予算(案)について
- (4) 北数教高等学校部会所属研究会(数実研並びに代数解析研)
令和2年度事業報告・決算報告並びに令和3年度事業計画・予算案について
 - 数学教育実践研究会
 - 代数解析研究会
- (5) 教育課程についての研究協議
- (6) その他
 - ア 令和3年度北数教高等学校部会の会員登録について(お願い)
 - イ 令和3年度北数教高等学校部会支部活動助成金について(公募)
 - ウ 第40回北海道高等学校数学コンテストについて
 - エ 第77回大会について

4 部会長挨拶

5 閉会のことば

北海道算数数学教育会 高等学校部会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は、北海道算数数学教育会高等学校部会と称する。
- 第2条 本会は、北海道算数数学教育会(略称：北数教)の高等学校部会とする。
- 第3条 本会は、事務局を札幌市内の高等学校におく。

第2章 目的及び事業

- 第4条 本会は、算数・数学教育に関する事項を研究し、会員の識見の向上につとめ、算数・数学教育の振興を図ることを目的とする。
- 第5条 本会は、前条の目的を達成するため、小学校、中学校部会と協力して次の事業を行う。
- 1 研究会を年1回以上開催
 - 2 本道の算数・数学教育振興のための必要な調査、研究
 - 3 機関誌の発行
 - 4 講習会、講演会の開催
 - 5 その他、本会の目的達成に必要と認められる事業

第3章 会員及び組織

- 第6条 本会の会員は、北海道の高等学校の数学教育に関係する者、及び本会の趣旨に賛同する者で、入会申し込みをした者をいう。
- 第7条 本会に次の支部をおく。

- | | | | | |
|---------|---------|----------|---------|---------|
| 1 石狩支部 | 2 函館支部 | 3 後志支部 | 4 小樽支部 | 5 南空知支部 |
| 6 北空知支部 | 7 旭川支部 | 8 留萌支部 | 9 名寄支部 | 10 網走支部 |
| 11 釧路支部 | 12 十勝支部 | 13 苫小牧支部 | 14 室蘭支部 | 15 根室支部 |

第4章 役員を選出及び職務

- 第8条 本会に次の役員をおく。
- | | |
|-------|-----|
| 部会長 | 1名 |
| 副部会長 | 若干名 |
| 監事 | 1名 |
| 研究部長 | 1名 |
| 研究副部長 | 若干名 |
| 常任幹事 | 若干名 |
| 代議員 | 若干名 |
- なお、役員任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。
- 第9条 部会長、副部会長、監事、研究部長、研究部副部長は常任幹事会で候補者を指名し、代議員会の承認を得るものとする。
- 1 部会長は本会を代表し、会務を統括する。
 - 2 副部会長は部会長を補佐し、部会長不在の場合には、その職務を代行する。
 - 3 研究部長は、研究部の会務を統括する。
 - 4 研究部副部長は、研究部長を補佐し、研究部長不在の場合には、その職務を代行する。
 - 5 監事は、本会の業務・会計を監査する。

第10条 常任幹事は部会長が指名し、代議員は各支部より選出する。

第5章 会 議

第11条 本会の会議として、全体研究協議会、代議員会、常任幹事会、部会会議を設け、部会長が招集する。

第12条 全体研究協議会は、原則として研究大会のおり開くものとする。

全体研究協議会の議長は部会長があたり、次の事項について協議、承認、決定する。

- 1 前年度の会務及び会計報告
- 2 年度の事業計画、予算
- 3 役員
- 4 会則改正
- 5 代議員会の提出した議案
- 6 教育課程の改善に関する研究協議

第13条 代議員会は代議員により構成し、次の事項を承認、議決する。

- 1 全体研究協議会に提案する事項
- 2 常任幹事会の提案した議案

第14条 常任幹事会は常任幹事により構成し、本会の会務、会計を審議、執行する。

- 1 年間の活動計画
- 2 事務局員の互選

第15条 部会会議は、部会長、副部会長、監事及び事務局長、事務局次長で構成する。部会会議は、中間議決機関としての役割を併せもち、定期的常任幹事会及び代議員会までの間の本会の円滑な運営に努める。

第16条 会議の議決は出席者の過半数によるものとし、可否同数のときは議長の決するところとなる。

第6章 会 計

第17条 本会の会費は500円とし、原則として毎年5月末日までに納入するものとする。

第18条 会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わるものとする。

第7章 付 則

第19条 本会の運営に関し、必要に応じて細則を設けることができる。

第20条 本会の会則は昭和57年9月17日から施行する。

- 昭和59年 9月21日会則一部改正
- 平成 9年 9月16日会則一部改正
- 平成10年 9月16日会則一部改正
- 平成11年 9月16日会則一部改正
- 平成24年10月25日会則一部改正
- 平成26年11月 7日会則一部改正

代議員に関する細則

会則第10条による代議員の基準数及び選出方法は、次の通りとする。

1 基準数

支部	基準数	支部	基準数	支部	基準数
石狩	13	函館	5	後志	3
小樽	1	南空知	3	北空知	3
旭川	3	留萌	1	名寄	3
網走	4	釧路	3	十勝	3
苫小牧	3	室蘭	2	根室	1

但し、石狩支部の基準数には、支部長・副支部長・事務局長を含めるものとする。

2 選出方法

- (1) 各支部ごとに1で示した基準数を選出する。但し、基準数より増減の必要があるときは、事務局長と協議するものとする。
- (2) 人事異動等により欠員が生じた場合は、その年度の5月末日までに補充する。
- (3) 各支部の代表者は、(1),(2)により選出された代議員をすみやかに事務局長に報告する。

研究部に関する細則

1 会則第5条の2に従い、次の研究組織をおく。

- (1) 数学コンテストの運営及び大学入試の研究に関わる組織（数学教育代数解析研究会）
- (2) 教材開発及びコンピューターに関わる組織（数学教育実践研究会）

2 上記2組織のそれぞれに、必要に応じて役員をおく。

事務局に関する細則

1 会則第14条2に定められる事務局員として、次の役員をおく。

事務局長 1名 事務局次長 若干名 会計 1名

(1) 令和3年度 北海道算数数学教育会 組織図 (高等学校関係分) について

会長 相馬 一彦
北海道教育大学 名誉教授

副会長 黒宮 裕久
市立札幌清田高校 校長

統括本部事務局

事務局次長 川嶋 哲典
札幌東陵高校 教諭

事務局員 杉本 拓也
札幌啓成高校 教諭

事務局員 山崎 浩和
石狩南高校 教諭

事務局員 工藤 大輔
札幌北陵高校 教諭

事務局員 本川 昌史
札幌英藍高校 教諭

高等学校部会

部会長 原田 稔朗
札幌白陵高校 校長

副部会長 (順不同)

花松 均 紋別 校長	清水 信彦 大麻 校長
榆木 伸司 足寄 校長	池亀 貞則 室蘭清水丘 校長
宮澤 一 岩見沢緑陵 校長	宮田 佳幸 市立札幌開成中等 校長

高等学校部会事務局

〒003-0876
札幌市白石区東米里2062番地10
北海道札幌白陵高等学校
TEL(011)871-5500 FAX871-5522

事務局長 藤川 雄二
札幌白陵高校教諭

事務局次長 吉田 亮介
札幌国際情報高校教諭

事務局次長 小林 志保
札幌白陵高校教諭

事務局次長 花田 貴
札幌東高校教諭

事務局会計 成清 悟
札幌白陵高校教諭

研究部

監事

尾崎 茂樹
市立札幌藻岩 校長

研究副部長
大谷 健介
札幌西 副校長

研究部長
辻 伸也
札幌あすかぜ 副校長

研究副部長
古屋 順一
有朋 副校長

数学教育実践研究会
代表
菅原 満
市立札幌旭丘高校 教諭

山本 大輔 長 尾 良平
札幌光星高校 札幌南高校

高松 舞子 若 林 理一郎
市立札幌大通高校 小樽桜陽高校

佐川 大樹 吉 田 奏介
名寄高校 士別翔雲高校

岡崎 知之 信 田 匡哉
旭川南高校 有朋高校

谷口 智哉 天 野 俊介
札幌手稲高校 小樽桜陽高校

代数解析研究会
代表
大和 達也
札幌西陵高校 教諭

島田 清稔 山崎 昌典
札幌稲雲高校 札幌丘珠高校

佐々木 光憲 木村 尚士
市立札幌清田高校 恵庭北高校

平間 順宏 古 田 和幸
室蘭東翔高校 小樽双葉高校

大野 俊文
余市紅志高校

令和3年度 北海道算数数学教育会 高等学校部会 役員名簿

4月22日現在

役 職	氏 名	学 校 名	役 職	氏 名	学 校 名
部会長	原 田 稔 朗	札幌白陵高等学校	常任幹事常任幹事(代・解研事務局長)	山 崎 昌 典	札幌丘珠高等学校
副部会長	榆 木 伸 司	足寄高等学校	常任幹事(研究部運営委員)	佐々木 光 憲	市立札幌清田高等学校
副部会長	花 松 均	紋別高等学校	常任幹事(研究部運営委員)	木 村 尚 士	恵庭北高等学校
副部会長	池 亀 貞 則	室蘭清水丘高等学校	常任幹事(研究部運営委員)	平 間 順 宏	室蘭東翔高等学校
副部会長	清 水 信 彦	大麻高等学校	常任幹事(研究部運営委員)	古 田 和 幸	小樽双葉高等学校
副部会長	宮 澤 一	岩見沢緑陵高等学校	常任幹事(研究部運営委員)	大 野 俊 文	余市紅志高等学校
副部会長	宮 田 佳 幸	市立札幌開成中等教育学校	常任幹事	足 立 猛	札幌東商業高等学校
監事	尾 崎 茂 樹	市立札幌藻岩高等学校	常任幹事	菊 地 信 明	礼文高等学校
研究部長	辻 伸 也	札幌あすかげ高等学校	常任幹事	石 橋 映 子	函館西高等学校
研究副部長	大 谷 健 介	札幌西高等学校	常任幹事	小笠原 三 守	市立函館高等学校
研究副部長	古 屋 順 一	有朋高等学校	常任幹事	谷 内 敏 高	札幌国際情報高等学校
統括本部事務局次長	川 嶋 哲 典	札幌東陵高等学校	常任幹事	押 上 恭 徳	滝川西高等学校
事務局長	藤 川 雄 二	札幌白陵高等学校	常任幹事	山 川 和 志	深川西高等学校
事務局次長	吉 田 亮 介	札幌国際情報高等学校	常任幹事	平 圭 佑	士幌高等学校
事務局次長	小 林 志 保	札幌白陵高等学校	常任幹事	村 田 佑 介	札幌東高等学校
事務局次長	花 田 貴	札幌東高等学校	常任幹事	山 本 孝 行	室蘭栄高等学校
事務局会計	成 清 悟	札幌白陵高等学校	常任幹事	籠 山 学	登別明日中等教育学校
常任幹事(本部事務局員)	杉 本 拓 也	札幌啓成高等学校	常任幹事	山 本 雄 介	追分高等学校
常任幹事(本部事務局員)	山 崎 浩 和	石狩南高等学校	代議員(石狩支部支部長)	桑 島 宏 明	市立札幌新川高等学校
常任幹事(本部事務局員)	工 藤 大 輔	札幌北陵高等学校	代議員(石狩支部副支部長)	杉 山 真	札幌西陵高等学校
常任幹事(本部事務局員)	本 川 昌 史	札幌英藍高等学校	代議員(石狩支部事務局長)	佐 藤 諒	札幌白石高等学校
			代議員(石狩支部事務局員)	川 原 華 子	札幌白石高等学校
常任幹事(数実研代表)	菅 原 満	市立札幌旭丘高等学校	代議員(石狩支部常任委員)	大 和 達 也	札幌西陵高等学校
常任幹事(数実研副代表)	山 本 大 輔	札幌光星高等学校	代議員(石狩支部常任委員)	木 村 司	札幌東陵高等学校
常任幹事(数実研事務局長)	長 尾 良 平	札幌南高等学校	代議員	袴 田 純	札幌啓成高等学校
常任幹事(数実研事務局次長)	高 松 舞 子	市立札幌大通高等学校	代議員	竹之内 康 秀	札幌厚別高等学校
常任幹事(研究部運営委員)	若 林 理 一 郎	小樽桜陽高等学校	代議員	齋 藤 正 浩	札幌東豊高等学校
常任幹事(研究部運営委員)	佐 川 大 樹	名寄高等学校	代議員	今 井 香 恵	函館西高等学校
常任幹事(研究部運営委員)	吉 田 奏 介	士別翔雲高等学校	代議員	加 藤 真 司	市立函館高等学校
常任幹事(研究部運営委員)	岡 崎 知 之	旭川南高等学校	代議員	水 江 賢	江差高等学校
常任幹事(研究部運営委員)	信 田 匡 哉	有朋高等学校	代議員	畑 仁	奈井江商業高等学校
常任幹事(研究部運営委員)	谷 口 智 哉	札幌手稲高等学校	代議員	馬 淵 洋 二	留萌高等学校
常任幹事(研究部運営委員)	天 野 俊 介	小樽桜陽高等学校	代議員	石 井 嘉 昭	遠軽高等学校
常任幹事(代・解研世話人(代表))	大 和 達 也	札幌西陵高等学校	代議員	山 木 誠 一	釧路湖陵高等学校
常任幹事(代・解研会計)	島 田 清 稔	札幌稲雲高等学校	代議員	加 藤 憲 義	網走南ヶ丘高等学校

令和3年度 北海道算数数学教育会 高等学校部会 地区委員

ブロック	地区	高等学校部会 地区委員	
1ブロック	石 狩	北海道千歳北陽高等学校長	渡 邊 周 一
	後 志	北海道寿都高等学校長	荻 屋 正 人
	小 樽		
2ブロック	上 川	北海道富良野高等学校長	高 橋 宏 明
	旭 川		
	宗 谷	北海道天塩高等学校長	後 藤 禎 和
	留 萌		
3ブロック	渡 島	北海道南茅部高等学校長	藤 井 浩 之
	函 館		
	檜 山	北海道奥尻高等学校長	佐 野 住 夫
	胆 振	北海道伊達緑丘高等学校長	須 藤 克 志
	室 蘭	北海道室蘭清水丘高等学校長	池 亀 貞 則
	苫小牧	北海道苫小牧東高等学校長	南 俊 明
	日 高	北海道静内高等学校 教諭	古 谷 知 之
	空 知	北海道芦別高等学校長	清 水 隆 弘
4ブロック	釧 路	北海道白糠高等学校長	田 村 信 明
	根 室	北海道別海高等学校長	佐 藤 一 昭
	十 勝	北海道足寄高等学校長	楡 木 伸 司
	帯 広	北海道帯広柏葉高等学校 教頭	奥 田 智 紀
	オホーツク	北海道紋別高等学校長	花 松 均
5ブロック	札 幌	市立札幌清田高等学校長	黒 宮 裕 久

(2) 令和2年度北数教高等学校部会事業報告並びに決算報告・監査報告について

令和2年度高等学校部会事業報告 *は新型コロナウイルス感染防止のため中止

月	日	活 動 内 容
4	13	高等学校部会研究部・高等学校部会役員・全道常任幹事・代議員委嘱状発送
	23	*第1回高等学校部会研究部研究協議会(会場:北海道札幌国際情報高等学校)
	27	*北数教高等学校部会石狩支部総会(会場:北海道札幌西陵高等学校)
5	16	*研究主題協議会(全体会、高等学校部会)(会場:札幌市立緑丘小学校)
	下旬	全道発送(全道各高校)①北数教高校部会加入依頼 ②支部活動助成金について
7	月上旬	*第2回高等学校部会研究部研究協議会
10	月上旬	*第3回高等学校部会研究部研究協議会
	15	*第75回大会(高等学校部会:特設授業・領域別分科会Ⅰ・全体研究協議会) 札幌大会1日目(会場:北海道札幌国際情報高等学校)
	16	*第75回大会(三校種部会:開会式・領域別分科会Ⅱ・閉会式) 札幌大会2日目(会場:ホテルライフオーブ札幌)
	17	*第1回三校種研究協議会
11	8	全道発送(全道各高校)数学コンテスト案内
12	10	*第4回高等学校部会研究部研究協議会
1	9	第39回北海道高等学校数学コンテスト
	16	第2回三校種研究協議会(オンライン実施)
3	7	第39回北海道高等学校数学コンテスト表彰式
	19	第1回高等学校部会研究部研究協議会(オンライン実施)

令和2年度 一般会計決算

【収入の部】

費目	2年度予算額	2年度決算額	増減	備考
a 繰越金	389,400	389,400	0	
b 会費	160,000	146,500	-13,500	本年度会員293名×500円(前年度会員数実績341名)
c 部会運営費	100,000	100,000	0	本部からの部会運営費の支給
d 数学コンテスト協賛金	205,000	175,000	-30,000	
e 雑収入(その他)	0	2	-2	利息
総計	854,400	810,902	-43,498	

【支出の部】

費目	2年度予算額	2年度決算額	増減	備考
a 研究大会費	50,000	0	50,000	
講師謝礼	0	0	0	
助言者旅費	0	0	0	
通信連絡費	50,000	0	50,000	
事務局費	0	0	0	
運営費	0	0	0	
b 研究部費	430,000	263,635	166,365	
数学コンテスト実施費	220,000	175,000	45,000	
代数解析研究会運営費	15,000	7,200	7,800	
数学教育実践研究会	150,000	41,636	108,364	
ホームページ運営費	45,000	39,799	5,201	高等学校部会ホームページ(数学のいずみ)運営費
c 支部活動助成費	50,000	10,000	40,000	北数教石狩支部
研究活動費計	530,000	273,635	256,365	
a 事務費	20,000	503	19,497	振込用紙印字代
b 通信連絡費	55,000	24,788	30,212	全道発送 振込手数料
c 会議費	10,000	0	10,000	
運営費計	85,000	25,291	59,709	
予備費	239,400	0	239,400	
総計	854,400	298,926	555,474	

繰越金 511,976

令和2年度特別会計

費目	2年度予算額	2年度決算額	備考
a 繰越金	1,020,147	1,020,147	
b 雑収入		10	利息
総計	1,020,147	1,020,157	

令和2年度数学コンテスト周年記念事業積立金

費目	2年度予算額	2年度決算額	備考
a 繰越金	205,609	205,609	
b 数学コンテスト残金		13,433	
c 協賛金			
d 雑収入		1	利息
e 支出			
総計	205,609	219,043	

上記の通り、令和2年度北海道算数数学教育会高等学校部会の決算を報告します。

令和3年3月24日 北海道算数数学教育会高等学校部会 会計

大井 隆二

監査の結果、上記の通り適正に執行されたことを認めます。

令和3年3月29日 北海道算数数学教育会高等学校部会 監事

原田 稔郎

(3) 令和3年度北数教高等学校部会活動方針・研究主題・事業計画(案)並びに予算(案)について

① 令和3年度高等学校部会活動方針

北海道算数数学教育会並びに北海道算数数学教育会高等学校部会設立の趣旨に基づき、北海道における高等学校数学教育の一層の発展を目指し、以下の要領で活動するものとする。

- ア 第76回釧路大会の準備に万全を期すとともに、その運営については、会員が満足できるよう最大限の努力を傾注する。
- イ 高等学校部会所属研究会の日常的・精力的な取り組みを重視し、予算的な処置を含めて積極的に支援する。
- ウ 全道各地での数学に関する研究活動について、研究助成・発表する場を設けるなど、会員の数学及び数学教育研究活動を積極的に支援する。
- エ 全道各地の各種数学研究会と一層連携し、会員及び研究内容の拡充・充実を図り、北数教支部活動の基盤整備を目指す。
- オ 高等学校部会研究協議会・研究部研究協議会・研究主題協議会・全体研究協議会の効率的な運営に努める。
- カ 高等学校部会の運営にあたっては、統括本部との連絡を密にし、小・中・高の三校種で連携のとれた活動ができるよう努める。

② 令和3年度高等学校部会活動方針の要点

- ア 第76回釧路大会において、講習会を実施し、講習会参加料1人1,000円を徴収する。
- イ 高等学校部会所属研究会の日常的な活動の広報については、高校部会事務局名で各研究会が全道の学校代表メールに発信する。また、高等学校部会研究部ホームページ「数学のいずみ」は、平成16年3月に第4回インターネット活用実践コンクールで学校教育部門の文部科学大臣賞を受賞したことでも分かるように、その内容の豊かさが高く評価されている。インターネットの活用については、今年度も引き続き北数教高等学校部会の宣伝等で利用していく。
- ウ 支部活動助成費5万円を計上して、全道各地の数学に関する研究活動を補助する制度を設けているが、今年度も同様に活用を働きかける。
- エ 経費負担軽減のため、5月の全道発送を除き、通信連絡は電子メールで配信する。また、若干でも統括本部に経費を負担してもらえるように事務局として要望していく。
- オ 会員に対する広報活動や会員の意見・要望に柔軟に対応できる体制をつくる。
- カ 到達目標や対象とする生徒集団の違い、数学教員の定数などの環境の違いなどもあり、統一した考え方で研究会を行うことは非常に困難ではあるが、全国的に見ても貴重な小中高の三校種が協力して活動することの意義を重視し今後も連携のとれた活動ができるように努力していく。

高等学校部会研究主題

「社会に生きる数学教育の理論的・実践的研究」

～主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業を目指して～

令和3年度高等学校部会事業計画（案）

月	日	活 動 内 容
4	15	高等学校部会研究部・高等学校部会役員・全道常任幹事・代議員委嘱状発送 第1回高等学校部会研究部研究協議会開催案内状発送 研究主題協議会（全道常任幹事会・代議員会）開催案内状発送
	28	第1回高等学校部会研究部研究協議会（各研究会：決算、予算、計画、第76回大会について）（Zoomによるオンライン会議）
	30	北数教高等学校部会石狩支部総会（会場：北海道札幌白石高等学校）
5	15	研究主題協議会（全体会、高等学校部会）（Zoomによるオンライン会議予定）
	下旬	全道発送（全道各高校） ①全道常任幹事会・代議員会資料、②全道常任幹事会・代議員会議事録、③北数教高校部会加入依頼（1回目）、④第76回北数教領域別分科会研究発表応募票、⑤支部活動助成金について
	下旬	研究者の紹介依頼
6	中旬	第2回高等学校部会研究部研究協議会開催案内状発送
7	上旬	第2回高等学校部会研究部研究協議会（第76回大会打ち合わせ）
	中旬	全道発送（全道各高校） ①第76回北数教（釧路大会）大会案内 ②北数教高校部会加入依頼（2回目）
	下旬	第76回大会領域別分科会研究発表者・担当委員・助言者決定
8	中旬	第76回大会役員委嘱状・役員の派遣依頼
9	中旬	第3回高等学校部会研究部研究協議会開催案内状発送
10	上旬	第3回高等学校部会研究部研究協議会（第76回大会最終打ち合わせ）
	上旬	第1回三校種研究協議会
	28	第76回大会（高等学校部会：特設授業・講習会・全体研究協議会） 釧路大会1日目（会場：北海道釧路湖陵高等学校）
	29	第76回大会（三校種部会：開会式 高等学校部会：領域別分科会ⅠⅡ・閉会式） 釧路大会2日目（会場：コーチャンフォー釧路文化ホール、北海道釧路江南高等学校）
11	上旬	第76回大会礼状発送（講師・大会役員・助言者等）
	中旬	全道発送（全道各高校） ①第76回大会報告、②数学コンテスト案内、③北数教高校部会会員名簿、④支部活動助成金について（再公募）⑤北海道算数数学教育会高等学校部会加入依頼（3回目）
	中旬	第4回高等学校部会研究部研究協議会開催案内状発送
12	上旬	第4回高等学校部会研究部研究協議会（令和3年度活動のまとめ、令和4年度活動方針等）
1	8	第40回北海道高等学校数学コンテスト
	中旬	第2回三校種研究協議会
3	12	第40回北海道高等学校数学コンテスト表彰式

令和3年度 一般会計予算(案)

【収入の部】

費目	2年度予算額	2年度決算額	3年度予算額	増減	備考
a 繰越金	389,400	389,400	511,976	122,576	
b 会費	160,000	146,500	160,000	0	本年度会員320名×500円(昨年度会員数実績293名)
c 部会運営費	100,000	100,000	190,000	90,000	本部からの部会運営費の支給
d 数学コンテスト協賛金	205,000	175,000	220,000	15,000	企業からの協賛金
e 雑収入(その他)	0	2	50,000	50,000	
総計	854,400	810,902	1,131,976	277,576	

【支出の部】

費目	2年度予算額	2年度決算額	3年度予算額	増減	備考
a 研究大会費	50,000	0	240,000	190,000	
講師謝礼	0	0	50,000	50,000	
助言者旅費・謝礼	0	0	70,000	70,000	
通信連絡費	50,000	0	70,000	20,000	
事務局費	0	0	20,000	20,000	
運営費	0	0	30,000	30,000	
b 研究部費	430,000	263,635	475,000	45,000	
数学コンテスト実施費	220,000	175,000	220,000	0	協賛金から
代数解析研究会運営費	15,000	7,200	15,000	0	
数学教育実践研究会	150,000	41,636	150,000	0	年4回程度行われる研究会運営費他
ホームページ運営費	45,000	39,799	90,000	45,000	高等学校部会HP(数学のいずみ)運営費等2年分
c 支部活動助成費	50,000	10,000	50,000	0	
研究活動費計	530,000	273,635	765,000	235,000	
a 事務費	20,000	503	20,000	0	事務局校消耗品等
b 通信連絡費	55,000	24,788	55,000	0	全道発送費【5月のみ】
c 会議費	10,000	0	20,000	10,000	研究部研究協議会・高等学校部会研究協議会
運営費計	85,000	25,291	95,000	10,000	
予備費	239,400	0	271,976	32,576	
総計	854,400	298,926	1,131,976	277,576	

令和3年度特別会計

費目	2年度決算	3年度予算	備考
a 繰越金	1,020,147	1,020,157	
b 雑収入	10	10	利息
総計	1,020,157	1,020,167	

令和3年度数学コンテスト記念事業積立金

費目	2年度決算	3年度予算	備考
a 繰越金	205,609	219,043	
b 数学コンテスト残金	13,433		
c 協賛金			
d 雑収入	1	1	利息
e 支出			
総計	219,043	219,044	

(4) 北数教高等学校部会所属研究会 (数実教並びに代数解析研)

令和2年度事業報告・決算報告並びに令和3年度事業計画・予算案について

令和3年4月22日

北海道算数数学教育会高等学校部会研究部
数学教育実践研究会

《INDEX》

- I. 令和2年度活動報告
 - 1. 令和2年度事務局体制
 - 2. 令和2年度会務報告
 - 3. 令和2年度会計決算
- II. 令和3年度計画(案)
 - 1. 令和3年度事務局体制(案)
 - 2. 令和3年度活動計画(案)
 - 3. 令和3年度予算(案)

I. 令和2年度活動報告

1. 令和2年度事務局体制

- 研究部長 辻 伸也(北海道札幌あすかぜ高等学校 副校長)
- 代 表 菅原 満(市立札幌旭丘高等学校 教諭)
- 副 代 表 山本 大輔(札幌光星高等学校 教諭)
- 事務局長 長尾 良平(北海道札幌南高等学校 教諭)
- 事務局次長 高松 舞子(市立札幌大通高等学校 教諭)
- 運営委員 若林理一郎(北海道小樽桜陽高等学校 教諭)
- // 佐川 大樹(北海道名寄高等学校 教諭)
- // 吉田 奏介(北海道土別翔雲高等学校 教諭) ※Web ページ管理担当
- // 岡崎 知之(北海道旭川南高等学校 教諭)
- // 信田 匡哉(北海道有朋高等学校 教諭)
- // 谷口 智哉(北海道札幌手稲高等学校 教諭)
- // 天野 俊介(北海道小樽桜陽高等学校 教諭)

2. 令和2年度会務報告

- R2.3.30 ○事務局研究協議会 オンラインにて開催
- R2.5.7 ○「令和2年度会員募集」および「第113回数実研」案内文書完了 ※E-mail も併用
- R2.6.6 ○「第113回数実研」 オンラインにて開催 ※研76名参加
【講演】『オンライン授業の実際』
講師：北海道札幌手稲高等学校 教諭 谷口 智 哉 様
□令和2年度会員登録数 173名(195名) ※()内は昨年度
- R2.7.18 ○「第114回数実研」案内発送完了

- R2.8.29 ◎「第114回数実研」 オンラインにて開催 ※研32名（懇10名）参加
【講演】『測量士の数学 vs 画家の数学』
 講師：大阪大学 名誉教授 川中宣明様
- R2.10.26 ○「第115回数実研」 案内発送完了
- R2.11.28 ◎「第115回数実研」 オンラインにて開催 ※研36名（懇7名）参加
【講演】『P値とは何だろうか：統計的有意性についての考察』
 講師：関西学院大学理工学部 教授 森本孝之様
- R2.12.14 ○「第116回数実研」 案内発送完了
- R3.1.9 ○事務局研究協議会 オンラインにて開催 ※第116回以降の数実研について
- R3.1.30 ◎「第116回数実研」 オンラインにて開催 ※研49名（懇11名）参加
【講演】『教えたはずなのにどうしても出来ないのとおそらく数学教師は思っている』
 講師：北海道札幌東陵高等学校長（前北数教副会長） 菅原和良様
【講演】『J（数学）d（人）=数実研』
 講師：市立札幌旭丘高等学校教諭（数実研代表） 菅原 満 様
- R3.3.19 令和2年度会計決算完了
- R3.3.19 ※第1回高等学校部会研究部研究協議会 オンラインにて開催
- R3.3.30 ○事務局研究協議会 オンラインにて開催
 令和2年度活動反省、令和3年度事務局体制・活動方針確認

3. 令和2年度会計決算

<収入の部>

費目	2年度予算	2年度決算	増減	備考
1. 研究費	150,000	150,000	0	北数教高等学校部会より
2. 雑収入	0	0	0	
合計	150,000	150,000	0	

<支出の部>

費目	2年度予算	2年度決算	残金	備考
1. 通信費	7,000	0	7,000	
2. 会場費	20,000	0	20,000	
3. 研究費	2,000	0	2,000	
4. 事務運営費	20,000	13,200	6,800	※ZOOM有料アカウント料金
5. 講演費	100,000	28,436	71,564	※講師謝礼・お礼・振込手数料
6. 予備費	1,000	0	1,000	
合計	150,000	41,636	108,364	

令和2年度 北数教数実研会計決算

【収入の部】

費目	2年度予算	2年度決算	増減	備考
1. 研究費	150,000	150,000	0	北数教高校部会より
2. 雑収入	0	0	0	
合計	150,000	150,000	0	

【支出の部】

費目	2年度予算	2年度決算	残金	備考
1. 通信費	7,000	0	7,000	
2. 会場費	20,000	0	20,000	
3. 研究費	2,000	0	2,000	
4. 事務運営費	20,000	13,200	6,800	Zoom有料アカウント料金
5. 講演費	100,000	28,436	71,564	講師謝礼・お礼・振込手数料
6. 予備費	1,000	0	1,000	
合計	150,000	41,636	108,364	

令和2年度北数教数実研会計の決算を上記のように執行しましたので報告します。

令和3年 3月17日

会計担当 長尾良



監査の結果適正に執行されたことを認めます。

令和3年 3月29日

監査 原田稔朗



II. 令和3年度計画（案）

1. 令和3年度事務局体制（案）

研究部長	辻 伸也（札幌あすかぜ高等学校 副校長）
代 表	菅原 満（市立札幌旭丘高等学校 教諭）
副 代 表	山本 大輔（札幌光星高等学校 教諭）
事務局長	長尾 良平（北海道札幌南高等学校 教諭）
事務局次長	高松 舞子（市立札幌大通高等学校 教諭）
運営委員	若林理一郎（北海道小樽桜陽高等学校 教諭）
//	佐川 大樹（北海道名寄高等学校 教諭）
//	吉田 奏介（北海道士別翔雲高等学校 教諭）※Web ページ管理担当
//	岡崎 知之（北海道旭川南高等学校 教諭）
//	信田 匡哉（北海道有朋高等学校 教諭）
//	谷口 智哉（北海道札幌手稲高等学校 教諭）
//	天野 俊介（北海道小樽桜陽高等学校 教諭）

2. 令和3年度 活動計画（案）

昨年度と同様に研究会については土曜日（休業日）に設定する。

年	月	日	内容	場所	備考
3	3	30	事務局研究協議会	オンライン	年度計画について
	5	初旬	会員募集		①新規会員募集案内送付 ②継続会員の確認 ※初回研究会参加者も登録
			北数教研究主題協議会	札幌市内?	
	6	5	第 117 回数実研	オンライン	●講演『ピタゴラスの三角形』 （講師）北海道大学大学院理学研究院 准教授 肺 部 発 様 ※今年度会員確定（以降、随時登録受け付け）
	8	28 （予定）	第 118 回数実研	オンラインの 可能性大	●講演『（テーマ未定）』 （講師）東奥義塾高等学校 教諭 井 上 嘉名芽 様
	10	28－ 29	北数教研究大会 釧路大会	釧路市	28日…特設授業・講習会 （釧路湖陵高校） 29日…開会式・領域別分科会・閉会式 （釧路江南高校）
11	27 （予定）	第 119 回数実研	未定	●講演『（テーマ未定）』 （講師）東洋大学情報連携学部 助教 辻 順 平 様	
4	1	29 （予定）	第 120 回数実研	未定	●講演『（テーマ未定）』 （講師）株式会社スペースタイム 代表取締役 中 村 景 子 様
	3	下旬	事務局研究協議会	札幌市内	年度末反省について

3. 令和3年度予算（案）

<収入の部>

費目	2年度予算	2年度決算	3年度予算	備考
1. 研究費	150,000	150,000	150,000	北数教高等学校部会より
2. 雑収入	0	0	0	
合計	150,000	150,000	150,000	

<支出の部>

費目	2年度予算	2年度決算	3年度予算	備考
1. 通信費	7,000	0	2,000	※輸送費他
2. 会場費	20,000	0	20,000	※会場謝礼他
3. 研究費	2,000	0	2,000	
4. 事務運営費	20,000	13,200	15,000	※事務用品他、研究会必要物品
5. 講演費	100,000	28,436	110,000	※講師謝礼ほか
6. 予備費	1,000	0	1,000	
合計	150,000	41,636	150,000	

(資料1) 令和2年度 数実研レポート一覧

第113回 数学教育実践研究会

(日時:令和2年6月6日 オンラインでの開催)

【講演】「オンライン授業の実際」

講師:北海道札幌手稲高等学校 教諭 谷口 智哉 様

- ・「オフラインでできる!バワポのICT教材!」 滝川工業高等学校 加藤 陽喜
- ・「漸化式のまとめ」 大麻高等学校 今川 直行
- ・「もしも数学用語を中国語にしてみたら」 札幌創成高等学校 外山 尚生
- ・「『なぜ数学を学ぶのか』VOL.1~数学の授業でのteachingとcoaching(生徒の主体性を引き出す取り組み)~」 札幌手稲高等学校 西村 昂介
- ・「パワーポイントでの自学自習教材について」 札幌西陵高等学校 杉山 真
- ・「教材は自分の中にある-アクティブ・ティーチング」 数実研会員 安田 富久一
- ・「授業を動画撮影して気づいたこと」 札幌光星高等学校 山本 大輔
- ・「『DO☆MATH 数学博物館』訪問記」 旭川南高等学校 岡崎 知之
- ・「生徒の疑問でOne more thing 2」 札幌南高等学校 長尾 良平
- ・「臨時休校中の課題を機能させる~グループLINEで解説動画やってみました~」
札幌啓成高等学校 杉本 拓也
- ・「ICTを活用した数学科教育法」 札幌月寒高等学校 平田 嘉宏
- ・「コロナ収束予測に役立つK値」 札幌月寒高等学校 平田 嘉宏
- ・「二項式 $x^{42} - 1$ を因数分解してみよう!」 数実研会員 村田 洋一

第114回 数学教育実践研究会

(日時:令和2年8月29日 オンラインでの開催)

【講演】「測量士の数学 vs 画家の数学」

講師:大阪大学名誉教授 川中 宣明 様

- ・「割り算しないで割り算する」 数実研会員 安田 富久一
- ・「注意深さを育成する問題」 数実研会員 安田 富久一
- ・「測ってみよう!ペットボトルで坂の角度を」 滝川工業高等学校 加藤 陽喜
- ・「入試問題を題材にした授業実践について」 本別高等学校 阿部 彰
- ・「定時制における学び直しの実践~負数概念の習得に向けて~」 札幌南高等学校 前川 太郎
- ・「ネガボジから始める指導計画」 旭川南高等学校 岡崎 知之
- ・「生徒が課題でOne more thing」 札幌南高等学校 長尾 良平
- ・「カテナリー (Catenary)」 札幌国際情報高等学校 吉田 亮介
- ・「前回レポから派生する因数分解」 数実研会員 村田 洋一

第115回 数学教育実践研究会

(日時:令和2年11月28日 オンラインでの開催)

【講演】「P値とは何だろうか：統計的有意性についての考察」

講師：関西学院大学理工学部 教授 森本孝之様

- ・「相関係数はなぜ標準偏差で割るのかー統計分野の「理不尽」を考察するー」
旭川南高等学校 岡崎 知之
- ・「Geogebra を活用した空間ベクトル課題」 本別高等学校 阿部 彰
- ・「問題解決のサブリメント：「工夫」or「元氣」」 数実研会員 安田 富久一
- ・「手に持つ三角比」 札幌南高等学校 前川 太郎
- ・「図形と方程式を図形的に見てみる<<軌跡編>>」 札幌創成高等学校 外山 尚生
- ・「授業から考える ICT 教育のあり方について
～簡単なことでも効果がある！千里の道も一歩から～」 訓子府高等学校 稲葉 智也
- ・「生徒の誤答で One more thing」 札幌南高等学校 長尾 良平
- ・「対数」 札幌国際情報高等学校 吉田 亮介
- ・「平行線は交わるか？～身近にある非ユークリッド幾何学～」 網走桂陽高等学校 阿部 卓朗
- ・「実数解1個と二次式の平方根3個を持つ無理方程式の解法」 数実研会員 村田 洋一

第116回 数学教育実践研究会

(日時:令和3年1月30日 オンラインでの開催)

【講演】

「教えたはずなのにどうしても出来ないのとおそらく数学教師は思っている」

講師：北海道札幌東陵高等学校長 菅原 和良 様

「J (数学) d (人) = 数実研」

講師：市立札幌旭丘高等学校教諭 菅原 満 様

- ・「『なぜ数学を学ぶのか』Vol.2 ～数学科通信による取り組み」 札幌手稲高等学校 西村 昂介
- ・「高専の教科書と高校数学 (ラプラス変換)」 札幌稲雲高等学校 菊地 剛
- ・「資料の整理をベクトルで理解してみる」 札幌創成高等学校 外山 尚生
- ・「中学数学と高校数学の意外な共通部分」 旭川南高等学校 岡崎 知之
- ・「どっちに凸？で One more thing」 札幌南高等学校 長尾 良平
- ・「面積・体積で One more thing」 札幌南高等学校 長尾 良平
- ・「隣接3項間漸化式 (名は体を表す)」 数実研会員 安田 富久一
- ・「群数列における不等式の扱い」 札幌国際情報高等学校 吉田 亮介
- ・「『はやぶさ』の軌道計算に有効な円周率の精度は？・・・」 数実研会員 村田 洋一

令和2年度 代数解析研究部事業報告

1 主な活動

- (1) 大学入試問題の研究及び発表
- (2) 第39回北海道高等学校数学コンテストの計画・運営・実施
- (3) 研究「ルベーク積分」 (講師 杉本 幸司 先生)

2 事業計画 (原則として例会は14:00~17:00、ただし、勉強会は10:00~)

	日 程	内 容	活 動 場 所
	3月28日 (土)	事業計画策定	札幌静修高校
1	6月13日 (土)	例会 (入試研究会)	札幌西陵高校
2	7月 4日 (土)	例会 (入試研究会)	札幌西陵高校
3	7月23日 (木)	例会 (勉強会「ルベーク積分」、入試研究会)	札幌静修高校
4	8月22日 (土)	例会 (入試研究会)	札幌西陵高校
5	8月30日 (日)	例会 (入試研究)	札幌西陵高校
6	9月 5日 (土)	例会 (勉強会「ルベーク積分」、入試研究会)	札幌静修高校
7	9月19日 (土)	例会 (入試研究会)	札幌西陵高校
	10月 4日 (日)	大学入試研究会 (オンライン)	札幌西陵高校
8	10月17日 (土)	例会 (コンテスト問題作問)	札幌西陵高校
9	10月24日 (土)	例会 (コンテスト問題作問)	札幌西陵高校
10	11月 1日 (日)	例会 (コンテスト問題作問)	札幌西陵高校
11	11月 7日 (土)	例会 (コンテスト問題決定)	札幌西陵高校
	1月 9日 (土)	第39回数学コンテスト	
12	2月13日 (土)	数学コンテスト上位者決定等	札幌西陵高校
13	3月13日 (土)	数学コンテスト発送作業	札幌静修高校
		運営会議	

3 北海道算数数学教育会高等学校部会研究部代数解析研究会 運営委員

代表	大和 達也	(札幌西陵高校)	
会計	島田 清稔	(札幌稲雲高校)	
事務局	山崎 昌典	(恵庭南高校)	佐々木 光憲 (市立札幌新川高校)
	木村 尚士	(恵庭北高校)	平間 順宏 (室蘭東翔高校)
	古田 和幸	(小樽双葉高校)	大野 俊文 (余市紅志高校)

令和2年度 北数教高校部会代数解析研究会決算書

【収入の部】

	R2予算	R2決算	増減	備 考
A 研究活動費	15,000	15,000	0	
B 数学コンテスト運営費	205,000	175,000	▲ 30,000	協賛金 東京書籍10,啓林館3, 数研1.5, 情報大学1.5, (TANJIL.5)
A 雑収入	30,000	0	▲ 30,000	
合 計	250,000	190,000	▲ 60,000	

【支出の部】

	R2予算	R2決算	増減	備 考
A 研究活動費				
1 研究費	0	2,200	-2,200	ZOOM使用料
2 印刷費	6,000	5,000	1,000	書籍代として
3 謝礼	39,000	0	39,000	
小 計	45,000	7,200	37,800	
B 数学コンテスト運営費				
1 印刷費	95,000	90,200	4,800	問題、採点を終えて(解答の印刷はなし)
2 通信費	47,000	25,104	21,896	切手、郵送代
3 会場費	15,000		15,000	表彰式は中止
4 盾代	35,000	37,873	▲ 2,873	盾、賞状、プレート
5 謝礼	10,000	8,390	1,610	秋山仁先生(表彰者への記念品)
6 30周年記念誌積立	1,500		1,500	
7 予備費	1,500		1,500	
小 計	205,000	161,567	43,433	
合 計	250,000	168,767	81,233	

※研究活動費 収入¥15,000-支出¥7,200=残金¥7,800 を高校部会事務局に返戻。

※数学コンテスト運営費 収入¥175,000-支出¥161,567=残金¥13,433 を特別会計()に繰り入れる。

令和2年度北数教代数解析研究部会計の決算を上記のように執行しましたので報告します。

令和3年 3 月 19 日

会計担当 島田 清穂 

監査の結果、適正に執行されていることを認めます。

令和3年 3 月 29 日
監査

原田 稔郎 

令和3年度 代数解析研究部事業計画 (案)

1 主な活動

- (1) 大学入試問題の研究及び発表
 (2) 第40回北海道高等学校数学コンテストの計画・運営・実施
 (3) 研究「ガロア理論の頂きを踏む」(石井俊全 著) (講師 関口 隆 先生)
 「ルベーク積分」 (講師 杉本 幸司 先生)

2 事業計画 (原則として例会は14:00~17:00、ただし、勉強会は10:00~)

	日 程	内 容	活 動 場 所
	3月27日 (土)	事業計画策定	札幌静修高校
1	4月17日 (土)	例会 (勉強会「ルベーク積分」、入試研究会)	札幌静修高校
2	5月 8日 (土)	例会 (勉強会「ルベーク積分」、入試研究会)	札幌静修高校
3	5月22日 (土)	例会 (勉強会「ルベーク積分」、入試研究会)	札幌静修高校
4	6月12日 (土)	例会 (勉強会「ガロア理論」、入試研究会)	札幌静修高校
5	7月17日 (土)	例会 (勉強会「ガロア理論」、入試研究会)	札幌静修高校
6	7月31日 (土)	例会 (入試研究会)	札幌西陵高校
7	8月28日 (土)	例会 (入試研究会)	札幌西陵高校
8	9月 4日 (土)	例会 (入試研究会 資料印刷)	札幌静修高校
9	9月20日 (月)	全国入試研究会	
10	9月25日 (土)	例会 (入試研究会)	札幌西陵高校
11	10月 2日 (土)	例会 (入試研究会)	札幌西陵高校
12	10月 9日 (土)	例会 (入試研究会 資料印刷)	札幌静修高校
13	10月16日 (土)	例会 (コンテスト問題作問)	札幌西陵高校
14	10月23日 (土)	例会 (コンテスト問題作問)	札幌西陵高校
	10月28日 (木) 29日 (金)	全道大会	釧路湖陵高校 釧路江南高校
15	11月 6日 (土)	例会 (コンテスト問題作問)	札幌西陵高校
16	11月13日 (土)	例会 (コンテスト問題作問)	札幌西陵高校
17	11月20日 (土)	例会 (コンテスト問題決定)	札幌西陵高校
18	11月27日 (土)	予備日	札幌西陵高校
	1月 8日 (土)	数学コンテスト	
19	2月12日 (土)	数学コンテスト表彰式準備	札幌西陵高校
	3月12日 (土)	数学コンテスト表彰式	
備 考	4月	高等学校部会研究部協議会	
	5月	北数教研究協議会 (全道常任幹事・代議員会)	
	7月	高等学校部会研究部協議会	
	10月	高等学校部会研究部協議会	
	12月	高等学校部会研究部協議会	

3 北海道算数数学教育会高等学校部会研究部代数解析研究会 運営委員

代表	大和 達也	(札幌西陵高校)	
会計	島田 清稔	(札幌稲雲高校)	
事務局	山崎 昌典	(札幌丘珠高校)	佐々木 光憲 (市立札幌清田高校)
	木村 尚士	(恵庭北高校)	平間 順宏 (室蘭東翔高校)
	古田 和幸	(小樽双葉高校)	大野 俊文 (余市紅志高校)

令和3年度 北数教高校部会代数解析研究会予算

【収入の部】

	R2予算	R2決算	R3予算	備 考
A 研究活動費	15,000	15,000	15,000	
B 数学コンテスト運営費	205,000	175,000	205,000	協賛金(6団体を予定)
A 雑収入	30,000	0	30,000	講習会参加料
合 計	250,000	190,000	250,000	

【支出の部】

	R2予算	R2決算	R3予算	備 考
A 研究活動費				
1 研究費	0	2,200	3,000	
2 印刷費	6,000	5,000	2,000	
3 謝礼	39,000	0	40,000	例会(勉強会)講師、講習会講師
小 計	45,000	7,200	45,000	
B 数学コンテスト運営費				
1 印刷費	95,000	90,200	95,000	問題、解答用紙、採点を終えて
2 通信費	47,000	25,104	44,000	切手、レターパック、ゆうパック等
3 会場費	15,000	0	15,000	
4 盾代	35,000	37,873	38,000	盾、賞状、プレート
5 謝礼	10,000	8,390	10,000	秋山仁先生(秋山仁賞へのお礼)
6 周年記念事業積立金	1,500	0	1,500	
7 予備費	1,500	0	1,500	
小 計	205,000	161,567	205,000	
合 計	250,000	168,767	250,000	

(5) 教育課程についての研究協議

令和3年5月吉日

各 位

北海道算数数学教育会高等学校部会長

原 田 稔 朗

(北海道札幌白陵高等学校長)

令和3年度北海道算数数学教育会高等学校部会の会員登録について (お願い)

新緑の候 貴職並びに関係各位におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃から北海道算数数学教育会(略称:北数教)の活動に深いご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、本会は算数・数学教育に関する事項を研究し、算数・数学教育の振興を図ることを目的に、研究会の開催やホームページによる研究成果の発信を積極的に行って参りました。これまでも、授業ですぐに使える教材の研究・開発や生徒の数学に対する興味・関心を高め、学力の向上を図る北海道高等学校数学コンテストの実施など、本道の高等学校における数学教育の充実に資してきたところです。つきましては、本会の趣旨をご理解いただき、今年度も多くの数学科担当教職員の皆様に会員登録をしていただきますよう、特段のご高配をお願いいたします。

記

1 会員登録

事務局までメールまたはFAXにて会員名をお知らせください。FAXの場合は裏面の「FAX送信票」をご利用ください。メールの場合は必要事項が記載されていれば形式は自由です。

2 年会費

(1) 会員1名につき500円です。

(2) 同封している「払込取扱票」を利用し、500円×会員数の金額を振り込んでください。

(手数料は負担していただきますようお願い申し上げます。)

(3) 数実研の会場でも会費納入を受け付けております。(この場合は手数料負担はありません)

(4) 代数解析研究会の大学入試研究会(9月20日(月))でも会費納入を受け付けております。

(この場合は手数料負担はありません)

年会費納入先

■金融機関: ゆうちょ銀行(郵便局)

■口座番号: 02700-6-100796

■加入者名: 北海道算数数学教育会 高等学校部会

*振込人の氏名は、学校名に「北海道」を付せずに記入してください。

(例) サッポロハクリョウ・・・等

※他金融機関からの振込用口座番号

二七九(ニナナキュウ)店(279) 当座 0100796

3 期 日

会則では5月末日となっておりますが、6月末までには納入をお願いいたします。

4 その他

会員登録者名簿を後日、各学校に送付する予定です。

会員登録及び会費の納入についてご不明な点がある場合には、事務局担当者までお問い合わせ願います。

[事務局担当者]

北海道算数数学教育会 高等学校部会事務局(札幌白陵高等学校内)

事務局長 藤川 雄二

TEL (011) 871-5500

FAX (011) 871-5522

E-mail 757414@hokkaido-c.ed.jp

F A X 送 信 票

令和3年 月 日 ※必要事項をご記入の上、この用紙のままご返信して下さい。

送 信 先	北数教高校部会 事務局長 北海道札幌白陵高等学校 藤川 雄二 行 (E-mail 757414@hokkaido-c.ed.jp) TEL (011)871-5500 FAX (011)871-5522																																	
発 信 元	学校名																																	
	担当者																																	
発 信 枚 数	送信票を含め 1 枚																																	
標 題	北数教高校部会会員登録について																																	
通 信 欄	令和3年度北数教高校部会会員登録者は次のとおりです。																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>登録者名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td></tr> </tbody> </table>		番号	登録者名	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		13		14		15	
	番号	登録者名																																
	1																																	
	2																																	
	3																																	
	4																																	
	5																																	
	6																																	
	7																																	
	8																																	
	9																																	
	10																																	
	11																																	
	12																																	
	13																																	
14																																		
15																																		



令和3年度 北海道算数数学教育会 高等学校部会 加入のお誘い

北海道算数数学教育会（略称 北数教）は、小学校部会、中学校部会、高等学校部会の3つから構成されています。それぞれの部会には、道内の多くの算数科・数学科教員に加入いただいております。高等学校部会の活動としては、ホームページ（数学のいずみ）による北海道数学教育の情報発信や、秋ごろに行われる全道単位の研究大会の開催などがあり、毎回多くの方に閲覧、また参加いただいております。また、高等学校部会には2つの研究会（代数解析研究会・数学教育実践研究会）があり、年数回の勉強会や研究会を行い、道内各地から多くの会員が意欲的に参加されております。

北海道算数数学教育会（北数教） 高等学校部会 活動内容

- 1 北海道における算数・数学教育振興のための必要な調査・研究、機関誌の発行
- 2 ホームページによる数学教育の情報発信（数学のいずみ <http://izumi-math.jp/>）
- 3 北数教釧路大会の実施（年1回、道内各地を輪番で担当し開催）

1日目 令和3年10月28日（木）北海道釧路湖陵高等学校

研究授業（特設授業）を行い、会員相互の授業研究を深めていきます。
また、著名な先生をお迎えし、講習会を行います。

2日目 令和3年10月29日（金）北海道釧路江南高等学校

領域別分科会Ⅰ（①指導法Ⅰ ②指導法Ⅱ ③教育課程・自由研究）、
領域別分科会Ⅱ（④教具・ICT ⑤大学入試）を行います。

※ 石狩支部では当番校を持ち回りで担当し、年1回の教員向け研修会が実施されています。

代数解析研究会

大学入試問題の研究や「北海道高等学校数学コンテスト」の計画・実施、数学書の輪読（勉強会）等を行っております。

代表 大和達也（北海道札幌西陵高等学校）

＜令和3年度 活動予定＞

4月～2月 例会（年15回程度実施）
9月20日（月）全国大学入試研究協議会
1月 8日（土）第40回数学コンテスト
3月12日（土）数学コンテスト表彰式

※詳細は事務局にお問い合わせ下さい。
※連絡先：事務局 平間順宏（室蘭東翔高）
Mail : mathcontest.hirama@gmail.com

数学教育実践研究会

年4回の研究会（講演+会員のレポート発表）の実施やHP「数学のいずみ」での情報発信等を行っております。

代表 菅原 満（市立札幌旭丘高等学校）

会員数 177名（令和2年度実績）

＜令和3年度 活動予定＞

6月 5日（土）第117回数実研
8月28日（土）第118回数実研
11月27日（土）第119回数実研
1月29日（土）第120回数実研

※連絡先：事務局 長尾良平（札幌南高）
Mail : r_nagao@icloud.com

※ 上記の活動には、会員の皆様の年会費（1人500円）が不可欠です。会費納入へのご協力をお願いいたします。

各 位

北海道算数数学教育会高等学校部会長

原 田 稔 朗

(北海道札幌白陵高等学校長)

令和3年度北海道算数数学教育会高等学校部会 支部活動助成金について (公 募)

時下、皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃から北数教並びに北数教高等学校部会の活動に対し、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。

さて、標記支部活動助成金については、北数教高等学校部会に関係する全道各地域の支部、数学研究会及び個人の先生方の数学教育に関連した各種研究活動や研究会参加並びに運営を支援することを目的に、平成10年度から北数教高等学校部会の事業の一環として予算化し、広く募集をしているところです。

つきましては、今年度も以下の要領で公募しますので、学校、グループ及び研究会等でご検討いただき、積極的にご応募いただければ幸いです。

記

- 1 助成対象 北数教高等学校部会会員並びに、会員が所属するグループ・研究会が行う研究活動で以下の項目のいずれかに該当するものであること。
 - ① 研究活動に必要な文献・備品・消耗品等の購入費
 - ② グループ・研究会の活動に必要な運営費
 - ③ 上記①～②以外であって、研究活動に必要なと考えられる各種経費
- 2 助成金額 1件につき10,000円 総額 50,000円
- 3 申請期間 令和3年5月31日(月)～令和4年2月25日(金)
ただし、予算額に達した時点で募集を打ち切ります。
- 4 申請方法 事務局までメールで申込をお願いします。
「支部活動助成金申請書」を添付ファイルとして返信しますので必要事項を記入し、「Fax」にて高等学校部会事務局まで提出してください。その際、「助成金の使途・内容」については、上記1の①～③を参考に、具体的に記入して下さい。
- 5 助成決定 助成対象にあたるか審査をした上で助成決定の可否を通知します。
助成決定となった申請については、直ちに指定口座に決定金額を振り込みます。
申請者は指定口座に助成金の振り込みを確認した時点で、「領収書」を事務局まで郵送して下さい。この場合、郵送料は各自で負担して下さい。
- 6 問合せ先 本助成に関してご不明な点がある場合は、下記事務局までお問い合わせ下さい。
北海道算数数学教育会高等学校部会事務局(札幌白陵高等学校内)
事務局長 藤川 雄二
北海道札幌市白石区東米里2062番地10
電 話: (011) 871-5500
F A X: (011) 871-5522
E-mail: 757414@hokkaido-c.ed.jp

令和3年度北数教高等学校部会支部活動助成金申請書 (FAX送信票)

発信月日	令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日 ____ 曜日		
発信元	氏名	学校名	高等学校
送信先	北数教高等学校部会事務局 札幌白陵高等学校 藤川雄二 FAX(011)871-5522		

北海道算数数学教育会 高等学校部会

部会長 原田 稔朗 様

令和3年度北海道算数数学教育会高等学校部会支部活動助成金の申請について

申請代表者名	印	研究会・グループ名
学校名	高等学校	TEL ()
学校住所	〒	支庁
申請金額	金 ¥ 10,000 円也	
申請理由 助成金の使途		
振込先銀行名	銀行・信用金庫	支店
店番号	口座番号	普通・当座
口座名義人	住所	
郵便局	記号□□□□□	番号□□□□□□□□
備考		

第40回 北海道高等学校数学コンテスト 実施要項

1 目 的

数学に対する興味・関心を高め、数学的資質の向上を目指すとともに学力の向上を図る。

2 主催及び後援

主催：北海道算数数学教育会高等学校部会（予定）

後援：北海道教育委員会、札幌市教育委員会、北海道高等学校長協会、北海道新聞社（予定）

3 対 象

北海道内の高等学校及び中等教育学校の生徒（中学校及び義務教育学校の生徒の受験も可）

4 期 日

標準実施日時 令和4年1月8日（土）9：00～12：30

※各学校の都合に合わせ、1月7日～13日の期間であれば、日時を変更することは可能です。

日時の変更を希望する場合は、事前に事務局までご連絡ください。

5 会 場

各高等学校

※今回も前回同様、社会情勢を鑑み、例年札幌市内に設けている公開会場はありません。各学校での実施をお願いします。

※学校の都合により自宅受験の形で実施することは可能としますが、その場合は表彰の対象とはいたしません。

6 出題内容

(1) 数学に対する興味や関心を喚起し、創造力・直感力・思考力を高める問題を出題する。

(2) 代数、解析、幾何、整数論、確率論、集合論等といった、高等学校において日常学習する内容と若干異なる出題をすることもあるが、高等学校1年終了程度の学力で解答可能な内容とする。

7 結果発表

(1) 2月下旬に所属学校を通して本人に通知する。

(2) 成績上位者（上位20名程度）には、賞状・楯等の贈呈を行う。（表彰式は実施しない。）

(3) また、結果については、北数教高校部会研究部ウェブサイト「数学のいずみ」等においても公開する。

8 受 験 料

無 料

9 申 込 み

(1) 各校の校内担当者は、北数教高校部会ウェブサイト「数学のいずみ」から申込フォームをダウンロードし、参加希望者の氏名等を入力の上、事務局アドレス宛てに送信してください。

(2) 申込期日：令和3年11月30日（火）

（校内事情等で期日を過ぎそうな場合は、事前に事務局までご連絡ください。）

10 その他

(1) 12月17日頃までに受験票と受験に係る連絡事項を各学校担当者にメール送付します。

(2) その他不明な点は事務局までお問い合わせください。

事務局：〒050-0072 室蘭市高砂町4丁目35番1号 北海道室蘭東翔高等学校内

数学コンテスト事務局 平間順宏 0143-44-4783・3312(Tel)4787(Fax)

メールアドレス mathcontest.hirama@gmail.com